

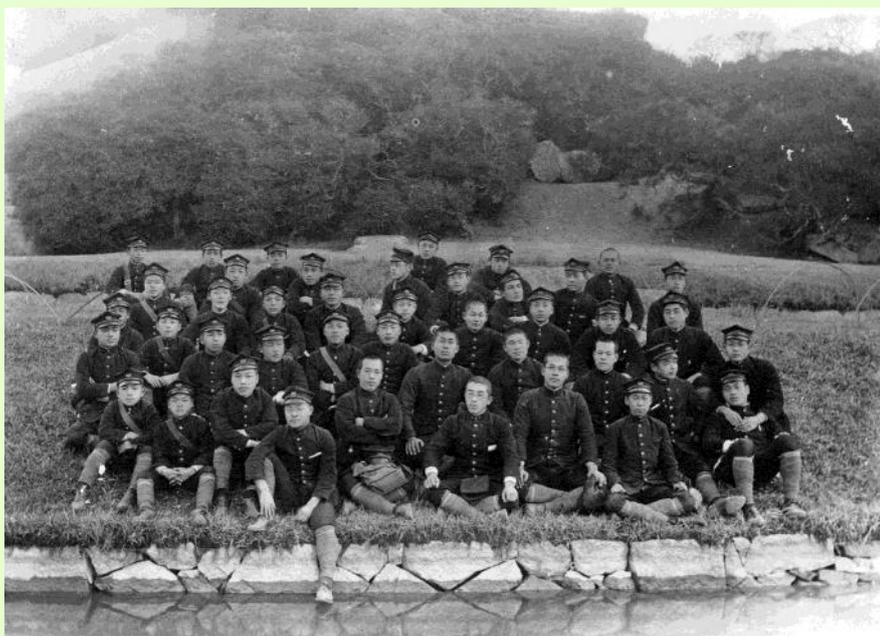
岡崎嘉平太記念館



Vol. 42

だより

岡崎嘉平太氏と岡山県立岡山朝日高等学校



岡山中学校時代の集合写真 岡山後楽園にて。前列右から4人目が岡崎氏。
5年生の時、岡山中学校在校生吉備郡出身者で。大正5年1月28日(1916)

岡崎嘉平太氏は現在の岡山県立岡山朝日高等学校の前身である岡山県立岡山中学校に1911年14歳で入学し1916年に卒業しました。2年生からは同じ敷地内にある寄宿舎に入り、ここで中国人留学生・陳範九氏との出会いがありました。達筆な陳氏と書等を通じて交流を深め、この時に中国への興味が一段と深くなったそうです。また良い先生にも恵まれ、歴史や漢文に親しみ、後の仕事にも役だったと述懐しています。

同校は旧制中学校の一つで、1874年、岡山城西の丸の温知学校内に中学生養成所として設立。1886年に岡山県尋常中学校となり、その後県立岡山中学校、岡山県岡山中学校、岡山県第一岡山中学校と改称。1949年、

高校再編成により、岡山県立岡山朝日高等学校となり、1953年、現在の岡山朝日高等学校の場所へ完全に移転し現在に至ります。



当時の県立岡山中学校正門



中学時代に親しくした中国人留学生から贈られた書



朝日高校書道部の生徒のパフォーマンス(当館前にて 2013年)

岡崎氏は卒業生として、創立90周年と110周年の際には招かれて記念講演を行いました(写真→)。岡崎氏の逝去後、1995年11月には同校の同窓資料館で「岡山朝日高校創立121周年記念特別展 岡崎嘉平太展」が開催され、遺墨や愛用品等が紹介されました。

また、2013年には、当館主催の企画展関連行事にも朝日高校書道部の生徒が参加くださいました(写真)。そして2013年より、河田啓子元館長が岡山朝日高等学校からの依頼で、一年生に向けた「ボランティア講演会」を行っており、令和7年1月23日(木)には13回目の講演を行いました(写真)。

岡崎氏の生涯や、生き方、また“人の身になって考える”ことを重んじた話しや、若者に向けたメッセージ等を紹介しました。



朝日高等学校にて講演した河田評議員とお礼を述べる朝日高生徒



県立岡山朝日高等学校創立110周年記念講演会の様子
岡山市民会館にて。昭和59年11月21日(1984)
「私の生涯の道を決定した先輩友人の話」と題して講演

岡山朝日高等学校は、令和6年度(2024)、創立150周年を迎え、記念式典や講演会、記念演奏会や展示会等が催されました。

岡崎嘉平太記念令和6年度秋の特別企画展

「岡崎嘉平太 訪中の足跡写真展」開催

令和6年9月22日(日)～12月20日(金) 協力：朱金諾氏

たれた松田久氏（岡山商工会議所会頭）と朱金諾氏（元全日本空輸株式会社CX推進室兼中国室常任理事）による講演と対談を開催、これに併せて朱金諾氏所蔵の写真を中心としながら、岡崎氏晩年の訪中の足跡をたどる写真展を開催しました。朱氏は昭和53年（1978）頃から通訳として、岡崎氏が訪中する際には度々同行するなど長年の親交があり、当館でも平成26年（2014）に開催した「第13回講演会」で講演いただき、貴重なお話をお伺いしました。その講演会でも一部ご紹介いただいた所蔵写真をこの度お借りして一堂に紹介するとともに、当館所蔵の岡崎氏晩年の訪中時の写真および関連収蔵品を併せて120点を展示紹介しました。



特別企画展会場風景



朱金諾氏所蔵の写真の一部



関連収蔵品



岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第23回講演会の開催

令和6年10月27日(日)きびプラザ(加賀郡吉備中央町)3階大ホールにて開催。当館では、日中友好への尽力のみならず、世界平和の実現をめざした岡崎嘉平太氏の功績や生き方を学ぶとともに、アジア地域での国際友好活動等を通じて世界平和に繋がる道を考える講演会を、開館以来、毎年開催しております。本年は、岡崎嘉平太氏が卒塾後も深く関わった岡山県出身者のための学生寮である「精義塾」出身で、岡崎訪中団にも度々参加し、生前の岡崎氏と直接交流を持たれた岡山商工会議所会頭松田久氏と、長年岡崎氏の通訳を務め、岡崎氏が訪中する際には必ず同行される等、親交の厚かった元全日本空輸株式会社CX推進室兼中国室常任理事の朱金諾氏をお招きしました。まずお二人に岡崎氏や精義塾の思い出、また両備グループと



松田久氏



講演会場の様子

岡崎氏との絆や岡崎氏の功績、訪中時の思い出等をお話いただきました。その後対談の形もと「岡崎訪中団」のお話等もお聞かせいただき、大変有意義な講演会となりました。当日は県内外から約100名の参加者があり、講演に聞き入っておられました。

※本講演会の講演記録は冊子にまとめ発刊し、ご希望の方には頒布いたします。詳しくは岡崎嘉平太記念館までお問い合わせください。



朱金諾氏

中国・淮安市淮安区友好訪問団来館 令和6年8月7日(水)

岡崎嘉平太氏の故郷である吉備中央町と周恩来総理の故郷である、中国・江蘇省淮安市淮安区は、二人の遺志を受け継ぎ、平成10年度に友好提携協定を締結しました。コロナ禍を経て、5年ぶりに交流を再開、淮安市淮安区から政府代表訪問団6名と中学生友好訪問団10名が来町しました。5日(月)には町主催の歓迎会が催され、友好訪問団の中学生は町内の



館内研修の様子



ワークショップでオリジナル缶バッジを作りました

の家庭にホームステイし、6日(火)は町内で中学生との交流会や町国際化推進協会による体験会等に参加、7日(水)には当館で岡崎氏について学びました。

岡崎嘉平太国際奨学財団第34、35期生来町 令和6年12月2日(月)

岡崎嘉平太国際奨学財団の第34期生4名と35期生1名、久野事務局長、事務局の崎山さんが来町来館されました。同財団は嘉平太氏の遺志を継承するためにANAが中心となり1990年に設立されて以後毎年アジア諸国から日本への留学を希望する優秀な青年を日本に招き支援を行っています。第34期生のロンさん(ベトナム)、トゥアンさん(ベトナム)、ティンさん(ミャンマー)、ウィンさん(ミャンマー)、第35期生のホンさん(台湾)達は、岡崎嘉平太記念館での研修後、嘉平太氏の菩提寺妙仙寺を訪問、その後嘉平太氏の墓参をし、母校である大和小学校で給食会や交流会に参加し児童と親睦を深めた後、大和山山頂の嘉平太氏揮毫「望郷の碑」を訪問、備前焼き体験等も行いました。吉備中央町の方々にも参加いただき、大変有意義な1日となりました。来年度より町内の小学校が統合されることになり、大和小学校での交流会は今年が最後となりました。



岡崎嘉平太記念館にて



妙仙寺にて



大和小学校交流会にて



大和山山頂「望郷の碑」前にて

「第18回嘉平太が愛したふるさと岡山写真展 入賞作品展」を岡山県自然保護センター、ジップアリーナ岡山、総社市の会場にて開催



自然保護センター会場

令和6年9月27日(金)から10月21日(月)まで和気町にある岡山県自然保護センター内センター棟会場で、10月25日(金)から11月17日(日)まで岡山市のジップアリーナ岡山エントランスホールにて、また11月23日(土)から12月15日(日)まで総社市総合文化センター内の市民ギャラリーにて、当館主催の写真展において入賞・入選された16点を展示、あわせて岡崎嘉平太氏の紹介パネルも展示しました。



ジップアリーナ岡山会場



総社会場(共催)

出展しました 令和6年10月13日(日)倉敷市芸文館で開催された「第33回倉敷国際ふれあい広場2024」に出展しました。嘉平太氏の生涯や功績をパネルやパンフレットで紹介しました。



展示しました 令和6年9月2日(月)から17日(火)まで吉備中央町内の大和郵便局にて夏休み企画として開催した「絵手紙をかく会」の作品全点と嘉平太氏の紹介パネルを展示させていただきました。



岡崎嘉平太記念館令和6年度新春ミニ企画展「嘉平太さんの母校大和小学校そしてふるさとへの想い展」開催

令和7年1月10日(金)から27日(月)まで、企画展示室にて開催。岡崎嘉平太氏の母校である町立大和小学校は、令和7年度からの小学校統合にともない3月末で閉校します。これを機に、大変郷土愛の深かった嘉平太氏が郷土に寄せた思いがうかがえる文献や、大和小学校に長年贈り続けた書籍の一部や遺墨、中国のお土産等を紹介しました。また、平成21年(2009)よりほぼ毎年続いてきた大和小学校と岡崎嘉平太国際奨学財団との交流事業も紹介しました。



来館くださいました

令和6年11月18日(月)吉備中央町内の円城小学校、11月20日(水)上竹荘小学校、21日(木)津賀小学校、22日(金)御北小学校、令和7年1月29日(水)豊野小学校の各校4年生の皆さんと先生方が、授業の一環で来館くださいました。学芸員による紙芝居や、館内説明、クイズ等で学習した後ANAオリジナルの紙飛行機を作って公園や広場で飛ばしました。当館では郷土の誇りである岡崎氏について子供達にしっかり伝えていきたいと出前講座も含めて教育普及に努めています。また令和6年8月19日(月)には吉備中央町新任教員研修の一環で16名の先生方がご来館くださいました。



きのこ写真展

主催：岡山きのこ研究会
令和6年9月9日(月)から26日(木)まで、日本で見られる“美しいきのこ”の写真約30点ときのこの基礎知識がパネルで紹介されました。



小田廣子きめこみ人形作品展

令和6年10月2日(水)から7日(月)まで開催。町内在住の小田氏が作成された“きめこみ”による人形や色紙額等が展示されました。



宇野和行・高杉龍美 二人展

令和6年10月12日(土)から27日(日)まで、町内在住の宇野氏(木作品や革細工等)と高杉氏(竹細工)による作品展が催されました。



吉備高原公民館ミニミニ文化祭2024作品展示会

主催：吉備中央町吉備高原公民館
令和6年10月31日(木)から11月4日(月)まで、地元吉備中央町の吉備高原公民館主催の講座に参加されている方々の作品展示が行われました。



小澤征爾レコードジャケット展

令和6年11月7日(木)から11日(月)まで開催。町内に勤務されている亀山定司氏による、氏が所蔵する世界的指揮者小澤征爾氏(中国生まれで、生涯日中友好にも尽力)のレコードのジャケット展、10日(日)にはレコードコンサートが開催されました。



2023年自然保護センター写真展

主催：岡山県自然保護センター
令和6年11月16日(土)から12月15日(日)まで開催。和気町にある岡山県自然保護センターが毎年自然保護センター内で見つけた動植物や、それをみつめる人々等、自然からのメッセージが感じられるような作品を広く募集した写真展を開催しており、入選入賞に選ばれた26点が紹介されました。



令和6年度 吉備中央町図画展

主催：吉備中央町教育研修所
令和7年1月11日(土)から27日(月)まで、県の児童生徒絵画展において特選を受賞した作品とともに町内・ブロック審査会で優秀作品に選ばれた作品や、町内幼稚園、子ども園児の作品が紹介されました。



※岡崎嘉平太記念館「嘉あちゃんの部屋」は当館が使用する期間を除いて主に町内の団体や個人の方に学習の場、作品発表の場等としてどなたでもお気軽にご利用いただけます。ご希望の方は当館までご相談ください。

第4回森の宝石ブッポウソウ写真展

主催：ブッポウソウ吉備中央町会
令和7年2月1日(土)から16日(日)まで開催。吉備中央町に毎年飛来する絶滅危惧種の渡り鳥「ブッポウソウ」の写真コンテストを住民団体が実施。応募のあった全95点が紹介されました。



催しのご案内

第17回 嘉平太が愛したふる里の子ども作品展

令和7年2月15日(土)～3月3日(月)
岡崎嘉平太記念館企画展示室

吉備中央町内の6年生の作品を一堂に展示。
小学校最後の思い出に制作した力作の数々を展示します。

『岡崎嘉平太さんとの思い出』を募集しています

皆様から岡崎嘉平太氏との思い出を募集いたします。お寄せいただいたエピソードや写真の一部は当館が主催する行事等で紹介させていただくこともあります。岡崎嘉平太記念館ホームページの『岡崎嘉平太さんとの思い出』募集中』フォーム、またはFAX、郵便等でもお受けいたします。是非ご協力ください。

第19回 嘉平太が愛したふるさと岡山写真展

協賛：(公財)岡山県産業振興財団・(株)吉備NC能力開発センター・オーニツク(株)

※応募締切は令和7年3月3日(月)

展示期間

令和7年4月16日(水)～6月15日(日)

岡崎嘉平太記念館

令和7年7月15日(火)～20日(日)

岡山県天神山文化プラザ第1展示室小室(岡山市)

※両会場とも応募いただいた全作品を展示します。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館
〒716-1241 岡山県加賀郡吉備中央町
吉川4860-6
きびプラザ内



TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066
HP <https://www.okazaki-kaheita.jp>
Eメール okmh@okazaki-kaheita.jp